小田原工場	汽缶室	建物 建物附属設備 構築物	神奈川県 小田原市 酒匂	64	16,689,894円	16,689,881円
	蒸汽缶	機械装置		9	15,117,964円	15,117,963円

当該施設は、平成20年度末までに除却の意思決定が終わっているもので、減損の兆候が認められ、認識及び測定を行いました。次年度以降に当該施設の解体撤去を行なうことから回収可能サービス価額を「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を損益外減損損失として計上いたしました。

⑻　電話加入権

種　　類	１回線あたり帳簿価額	回線数	帳 簿 価 額	損益外減損損失
前年度末における休止回線	1円	387回線	387円	―
前年度末における使用回線	13,000円	131回線	1,703,000円	116,991円

使用中の回線については、電話加入権の売買市場価格が著しく下落しているため、減損の兆候が認められましたが、ＮＴＴ公定価格36,800円が帳簿価額を上回っているため、減損額は算出されませんでした。平成20年度中に休止した９回線については、現在客観的な使用可能性が想定できないことから、回収可能サービス価額を「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を損益外減損損失として計上いたしました。

Ⅳ　損益計算書

※１　製品期首たな卸高及び製品期末たな卸高

製品期首たな卸高は、前事業年度の製品期末たな卸高を計上しております。

また、製品期末たな卸高は、63,058,057円の評価減を実施した後の金額を計上しております。

※２　他勘定振替高

自製した製品のうち、見本品等に供したものであります。

※３　研究開発費

当期総製造費用及び一般管理費に含まれる研究開発費は、3,359,263,362円であります。

※４　固定資産除却損（営業外費用）

固定資産除却損の内訳は、次のとおりであります。

種　　類	固定資産除却損計上額
建　　物	39,058,043円
構　築　物	5,639,798円
機　械　装　置	114,803,080円
車　両　運　搬　具	249,033円
工　具　器　具　備　品	12,005,309円
そ　の　他	756,783円
合　　計	172,512,046円

なお、固定資産除却損には、上記のほかに159,319,647円の解体・撤去費用が含まれております。

※５　固定資産売却益

固定資産売却益の内訳は、次のとおりであります。

種　　類	固定資産売却益計上額
機　械　装　置	11,343,569円
車　両　運　搬　具	2,096,534円
合　　計	13,440,103円

Ⅴ　キャッシュ・フロー計算書

１　キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金は、手許現金及び要求払預金からなっております。

２　資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金	27,706,233,982円
定期預金	△ 25,000,000,000円
資金期末残高	2,706,233,982円

３　本年度に重要な非資金取引はありません。

Ⅵ　行政サービス実施コスト計算書

損益外減損損失相当額は、中期計画等で想定した業務を行ったにもかかわらず、生じた減損損失相当額であります。

引当外退職給付増加見積額は、国からの出向役員に係るものであります。

Ⅶ　重要な債務負担行為

翌年度以降に支払を予定している債務負担行為額は、9,757,668,634円であります。

なお、債務負担行為額が５億円以上であるものの内訳は、次のとおりであります。

	件　　名	契約年月日	債務負担行為額
1	旅券冊子用ＩＣシートＡ	平成20年12月19日	1,185,009,000円
2	旅券冊子用ＩＣシートＢ	平成20年12月19日	871,563,000円
3	小田原工場紙料棟新築工事（建築）	平成20年10月14日	856,170,000円
4	銀行券凸版印刷機	平成20年11月６日	774,900,000円
5	券面検査装置	平成20年12月18日	525,000,000円
6	第１号挿入装置改造	平成21年２月26日	514,500,000円

Ⅷ　重要な後発事象

該当事項はありません。